

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	竹生 正人	法人・事業所の特徴	宝永きらめきは、「あなたらしさいつまでも」を理念にいつまでも住み慣れた自宅、地域で自分らしく生活が続けられるようにサポートしています。また、利用者様のやりたい事や想いの実現、利用者様が活躍できる事業所を目指しています。組合員集会室は、組合員のみなさまや地域の方が集える場として提供しており、お食事会やカフェも開催しております。
事業所名	宝永きらめきハウス	管理者	杉江 正幹		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A.事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り決めた改善計画に沿って、取り組みを行います。主に利用者の情報収集を強化し、利用者の個々の自立を促し、出来ることを増やす取り組みをしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の情報収集の強化をケアマネージャー中心に行っています。 施設利用時に利用者自身が食器洗いや掃除といったお手伝いの役割を自主選択して行うことで自立促進の取り組みをしました。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族同士での意見交換会の回数を増やすことは良いと思う 地域資源の活用に関しては福井市社会福祉協議会からの情報収集も良いと思う。 宝永きらめきが行っている祭りは地域住民の参加率も高く、認知もされているので継続して行ってほしい。 地域の小学生や中学生や児童と利用者の交流の場が増加した事は良い取り組みだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価で取り決めた改善計画に沿って、取り組みを行います。昨年は利用者の自宅での転倒が増加している事から自宅環境の整備に取り組んでいきます。
B.事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域住民が事業所に入りやすい取り組みを今後も継続していきます。(いっぷく茶屋、早朝トレーニング、ギャラリー貸し出し) 事業所にて利用者とその家族が交流するイベントの実施(1回以上行う)をします。 	<ul style="list-style-type: none"> いっぷく茶屋、早朝トレーニング、ギャラリー貸し出し、ふれあいお食事会、なかまほいく、祭りといった取り組みを行い、多数の地域住民との交流の場をもてました。 家族会を4月に行い、家族同士の意見交流会を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> いっぷく茶屋、早朝トレーニング、祭りといった取り組みは地域住民に認知されており、多数の地域住民が参加している現状もあり、継続してほしい。 ギャラリー貸し出しにより、地域住民が入りやすい環境になっている。 家族同士の意見交流会は年に複数回行った方が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に根付いている、いっぷく茶屋、早朝トレーニング、ギャラリー貸し出し、ふれあいお食事会、祭りといった取り組みを継続していきます。 家族同士の意見交流会は複数回行うようにします。 悪臭防止や感染症予防のために、換気をまめに実施していきます。
C.事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員・防災委員としての活動継続を実施します。 地域行事や地域活動をスタッフにも情報共有を行い、地域活動参加を増やし地域との関係作りの架け橋としていきます。 「きらめき応援団(ボランティア)」の具体的な活動の場を提供して、利用者との交流の機会を増やしていきます。 利用者に活動予定をお知らせし、交流の活発化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員として独居高齢者の見守り、弁当宅配といった活動を行いました。 「きらめき応援団(ボランティア)」に祭りでのお手伝いや様々なレクリエーションで利用者とは交流いただきました。 利用者に地域で開催している行事の案内は不十分で交流の拡大はできませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉委員としての活動を継続して、地域の独居高齢者への見守りをしていってほしい。 地域に認知されていて相談しやすいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員としての活動継続を実施します。 「きらめき応援団(ボランティア)」の拡大をして、利用者とは地域住民との交流の機会を増やしていきます。 宝永地区の回覧板資料を掲示して地域行事、活動をスタッフへ発信していきます。 宝永地区社会教育委員会が行う地域住民に向けた福祉学習会と一緒に参画します。 地域のデイケア(たからサロン)と利用者が交流できるように取り組みます。
D.地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員、防災委員としての活動継続を実施します。 地区の行事について、地区の回覧板内容を利用者にお知らせして宝永地区への理解を深め、行事参加を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> 宝永地区福祉委員として独居高齢者の見守り活動をしました。 防災委員として地域の防災訓練に参加しました。 地区の行事案内が利用者に対して十分にできなく、地域行事参加の促進できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と職員が散歩したり外出する姿を見ます。 福祉委員として活動いただき心強いです。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や地区会議を通して、地区役員さんと協議し、利用者が地域で活躍できる場、役割作りの活動にチャレンジしていきます。(養浩館での清掃活動) 宝永地区福祉委員としての活動継続を実施します。 利用者の交通事故のリスクを減らすために、利用者向けの交通安全講座を行います。
E.運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、職員が地域活動に積極的に参加し、地域との関係作りを深めます。 運営会議の開催場所を利用者の顔が見える場所で開催継続します。(年に1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> お泉水祭りに職員と利用者と一緒に参加しました。 施設前道路の掃除は行っています。 運営推進会議の開催場所が1Fギャラリーばかりになり、利用者の顔が見える場所での開催はできませんでした。 徘徊模擬訓練や認知症サポーター養成講座を地域住民と一緒に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の顔が見える場所で開催しないと、施設職員からの説明だけになるので、現場の空気が伝わる場所での開催は大事だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議や地区会議を通して、地区役員さんと協議し、利用者が地域で活躍できる場、役割作りの活動にチャレンジしていきます。(養浩館での清掃活動) 運営会議の開催場所を利用者の顔が見える場所で開催継続します。(年に2回以上) 地域住民と一緒に宝永地区の地図を作成していき、地域の事がよりわかるようにしていきます。
F.事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練で地震の防災訓練を継続実施します。 地域の防災訓練に防災委員として参加、活動します。 事業所の防災計画を運営推進会議の場を通して資料開示を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練で地震の防災訓練をしました。 地域の防災訓練に職員、利用者とは参加しました。 事業所の防災計画を運営推進会議で資料開示できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害があった際、避難先として地域住民の受け入れは何人まで可能ですか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の防災訓練で地震の防災訓練を継続実施します。 地域の防災訓練に利用者と一緒に参加します。 事業所の防災計画を運営推進会議の場を通して資料開示を行います。